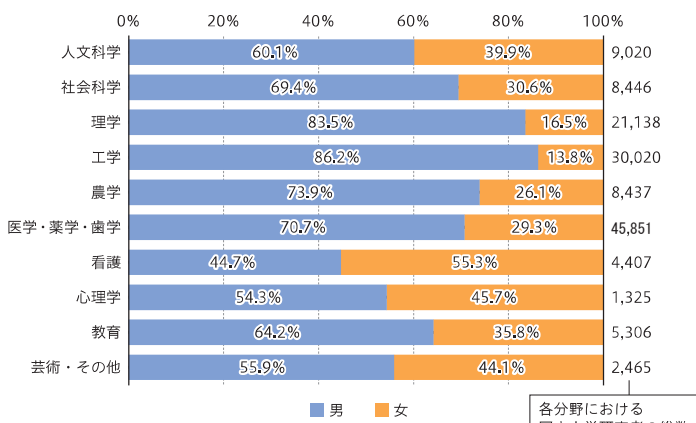


9. 女性活躍

科学技術イノベーションを担う女性の活躍推進を図る

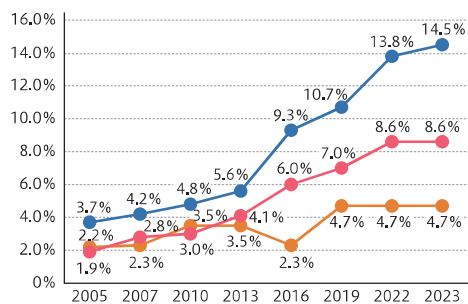
人口減少局面にある我が国において、研究者コミュニティの持続可能性の確保と、多様な視点や優れた発想を取り入れ科学技術イノベーションの活性化のためには女性研究者の活躍推進が求められているが、女性研究者割合は看護以外で過半数を下回っている(9-1)。学長や副学長、理事、大学の意思決定機関等での女性割合は増加しており(9-2)、大学内に女性の意見を取り入れるよう精力的に取り組んでいる。

9-1 専門分野別に見た国立大学研究者の男女別割合



(出典) 総務省『令和5年度 科学技術研究調査』より国立大学協会事務局作成

9-2 国立大学の学長・部局長及び意思決定機関等における女性比率



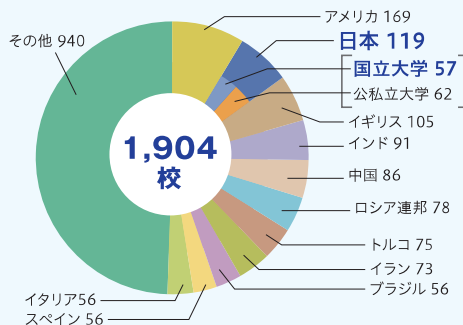
(出典) 国立大学協会「国立大学における男女共同参画推進の実施に関する第20回追加調査報告書」
 (注1) 「大学の意思決定機関等」には学長、副学長、理事、学長補佐等、経営協議会(学内委員)、教育研究評議会委員、部局長等、監事、非常勤理事、大学運営に参画する外部委員等、非常勤監事を含む
 (注2) 大学の意思決定機関等の集計は延べ人数とし、経営協議会、教育研究評議会には学長、理事(非常勤理事)も含まれる。また、学長補佐等には学長や理事を補佐する役職も含むが、理事及び副学長は除く。

TOPICS

英国・THE (Times Higher Education) 世界大学ランキング国別ランクイン大学数

全世界に約20,000校ある高等教育機関のうち、研究力に関する評価基準を満たした1,904校の中で、日本はアメリカに次いで119校がランクインしており、そのうちの57校が国立大学である。

(出典)「Times Higher Education World University Rankings 2024」より 国立大学協会事務局作成



2000年以降の日本人ノーベル賞受賞者

受賞年	氏名	分野	出身大学	受賞時所属大学・機関
2000	白川英樹	化学	東京工業大学	筑波大学
2001	野依良治	化学	京都大学	名古屋大学
2002	小柴昌俊	物理学	東京大学	東京大学
	田中耕一	化学	東北大学	島津製作所
2008	小林誠	物理学	名古屋大学	高エネルギー加速器研究機構
	益川敏英	物理学	名古屋大学	京都産業大学
	南部陽一郎	物理学	東京大学	シカゴ大学
2010	下村脩	化学	長崎大学	ボストン大学
	鈴木章	化学	北海道大学	北海道大学
2012	根岸英一	化学	東京大学	パデュー大学
2012	山中伸弥	医学・生理学	神戸大学	京都大学

(注) 平和賞、文学賞を除く
 (出典) Nobel Prize, Orgのウェブサイトより国立大学協会事務局作成

受賞年	氏名	分野	出身大学	受賞時所属大学・機関
2014	赤崎勇	物理学	京都大学	名城大学
2014	天野浩	物理学	名古屋大学	名古屋大学
	中村修二	物理学	徳島大学	カリフォルニア大学サンタバーバラ校
2015	梶田隆章	物理学	埼玉大学	東京大学
	大村智	医学・生理学	山梨大学	北里大学
2016	大隅良典	医学・生理学	東京大学	東京工業大学
2018	本庶佑	医学・生理学	京都大学	京都大学
2019	吉野彰	化学	京都大学	旭化成
2021	真鍋淑郎	物理学	東京大学	プリンストン大学

2000年以降の出生国別ノーベル賞受賞者

順位	出生国	受賞者数
1位	アメリカ	110人
2位	イギリス	24人
3位	日本	20人